



桐

K

I

R

I



平成17年度会務報告



同窓会会長

安達 富夫

(昭和43年 3月卒)

この1年を振り返ってみますと、我が国の国内経済は、回復基調が続いておりますが、私達庶民の生活はというと、原油高騰を受けての5月からのガソリンの大幅値上げに象徴されるごとく、まだまだ暮らし安さにはほど遠い気がいたします。

このような中、本会会員諸兄におかれましては、日々必死の思いでご健闘をされていることと推察いたします。

ところで、本誌が皆様のお手元に届く頃は、「2006年 FIFAワールドカップ・ドイツ大会」が開催され、日本国中が熱狂に包まれているのではないかと思います。是非、素晴らしい感動を与えてくれることを、期待したいと思います。

まず、本誌を通してこの1年間の経過報告等をさせていた

だきます。

母校の行事につきましては、例年同様、卒業式に同窓会から代表が出席して、新会員となる卒業生に祝意を表してまいりました。

次に、昨年7月16日新宿ワシントンホテルビル内宴会場、「ウエストシティホール&ウエディングアイ」において、平成17年度の同窓会総会並びに懇親会を母校の関口理事長・校長先生、小山副校長先生をはじめとする教職員の先生方並びに父母の役員、恩師の先生方等ご来賓のご出席を得て、開催いたしました。昨年は、昭和20年に第1期生が卒業してから満60周年に当たり、本会としては、特別な記念行事は行いませんでしたが、その意義を込めて開催された総会・懇親会でありました。従来と異なった点では、一部・二部形式で開催してきた総会・懇親会方式を改め、懇親会をメインとした簡素化を図り、これまでの立食パーティから着席スタイルとしたことです。総会・懇親会では、始めに会長挨拶の中で、出席者に対して開催方式の変更説明、予算・決算と、同窓会会則の一部改正の承認を求め、在校生に対する奨学寄付金の実施を紹介させていただきました。次いで、来賓ご挨拶として関口理事長・校長先生よりお祝いのお言葉をいただき、平井副会長から今後3年間の本会役員のご紹介がありました。そして、須藤前校長先生の音頭による乾杯の後、それぞれの

テーブルは旧友、恩師との久々の再会に、和やかな歓談へと移りました。席上では、親子二代卒業生への記念品贈呈、本会懇親会には2度目の出場となる「めおと楽団ジギジギ」のショータイムでは、出席者も一体となって大変な盛り上がりとなりました。宴たけなわでは、飛び入りで下田将美(昭和31年卒)さんのハーモニカ演奏、ビンゴゲーム等もあり瞬間に2時間半が過ぎてしまいました。3年振りの再会とあって懇談は尽きることなく和やかに進められ、最後は、恒例となった出席者全員による新旧校歌の大合唱で名残りが尽きぬ中、それぞれが次の再会を約しておひらきとなりました。

なお、下記に、ご来賓を始めとする当日の出席者のご芳名を、掲載させていただきました。

次に、本会の会員数について申し上げますと、去る3月11日の卒業証書授与式を以て、新たに210名の新会員を迎え、会員総数では29,170名を数えるにいたりました。

なお、本年は、珍しく親子2代に亘る卒業生は、いらっしゃいませんでした。

また、同窓会賛助会費の納入については本年も多数の会員からのご賛同と深いご理解をいただき、平成17年度は7頁に



ご芳名記載のとおり177名の方々から納入をいただきました。ここに、謹んでお礼を申し上げます。この賛助会費は、すでに本誌にてもご案内させていただいたとおり、平成14年度から納入対象者、納入金額ともに見直しをさせていただき、一口1,000円で全会員を対象としてご協力を仰ぐことにしました。

以来、この3年間は毎年200名を超える会員諸兄からご協力をいただいておりますが、平成17年度は残念ながら200名を下回る結果となりました。これは、5,000円以上の大口協力者が納入者全体の約37%を占める一方、新規協力者が43名(約24%)と例年に比較して少なかったためです。

本年も、本誌の発送とともにすべての会員に、賛助会費(同窓生年会費)の払込通知票を同封させていただきましたので、会員諸兄のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。また、口数は任意ですので、お志のある方は、是非、複数口のご協力を重ねてお願い申し上げます。

おわりに、今後ともなお一層、同窓会に対するご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会員諸兄の益々のご健康とご繁栄を祈念申し上げて、会務報告とご挨拶といたします。



平成17年度総会・懇親会

出席者のご芳名

平成17年7月16日(土)、新宿ワシントンホテルビル内宴会場「ウエストシティホール&ウエディングアイ」にて開催された同窓会総会・懇親会にご出席された方は、下記の方々です。

〈ご来賓〉		〈会 員〉	
理事長・校長	関 口 隆 司	S.20卒	岡 本 誠之助
副 校 長	小 山 徹 巳	S.24卒	久 我 茂三郎
事務局 長	松 本 武 公	S.27卒	岩 堀 照 彦
事務 長	佐 藤 公 俊		大 浦 英 雄
教 諭	工 藤 徹 啓		遠 藤 盛 治
恩 師	須 藤 亘 信		國 吉 二 郎
”	山 本 信 肇		佐 藤 川 威 誠 公
父母の会	井 上 肇		須 山 口 威 誠 公
(招待者)			山 藤 田 貞 男
親子2代卒業生		S.28卒	藤 村 義 男
S.49卒	鈴 木 敏 一	S.30卒	木 村 福 太郎
H.16卒	鈴 木 佑 一 郎		矢 川

S.31卒	田 苗 公 己	S.42卒	市 川 康 憲
	下 田 将 美	S.43卒	安 達 富 夫
S.32卒	土 方 渡 博 己		香 取 武 林
S.33卒	石 井 平 秀 夫	S.44卒	武 小 日 下
	片 平 和 勇	S.45卒	小 川 部
S.34卒	武 田 勝 己	S.49卒	高 木 英
S.35卒	相 澤 田 信 明	S.50卒	鶴 見 正 好
S.37卒	飯 村 忠 正		稲 葉 秀 良
S.38卒	中 村 山 正 徹	S.52卒	小 林 根 信
	小 井 野 保 郎	S.53卒	斉 藤 川 村
S.40卒	藤 行 方 三 正		諸 大 北
	太 武 山 義 正	S.57卒	熊 平 洋 充
	長 島 清 二	H. 2卒	
	根 岸 宏 雄	H.17卒	
	堀 口 政		
	森 田 政		

(敬称略)

ご挨拶と学校の動向



理事長・校長

関 口 隆 司

本年度から、飯野泰男先生の後任として目黒学院中学校長を兼務することになりました。飯野前校長先生は昭和41年4月に目黒高等学校に赴任され、本校の英語教育・国際交流活動に多大な貢献をされました。平成7年4月に目黒学院中学校の新設と同時に中学校教頭に就任され、平成14年4月からは同校の校長として中高一貫教育を支える大黒柱として活躍されました。飯野先生の高邁な教育理念を引き継ぐ者として甚だ未熟ではありますが、目黒学院の新たな飛躍のため全力を注ぐ決意であります。同窓生の皆様の一層のご協力、ご鞭撻を賜りたく存じます。

以下に若干のご報告を申し上げます。

1. 学校行事

平成17年度の目黒学院では、ほぼ予定通り順調に学校行事・教育活動が行われました。平成17年度は、全校生徒が完全学校6日制に戻った初年度であり、専任教職員の週休2日制度実施の元年でもありました。さまざまな細かい問題点でしたが、試行錯誤を繰り返していくことによって、より円滑で効果的な教育活動ができるものと確信しております。

「総合的な学習の時間」の一部として、総合進学コースの2年生には小論文指導を授業で行っておりますが、本年度からはこれを体育コースにも実施し、加えて毎日行われる始業前の朝学習、進路選択のための各種ワークシート、本校教諭や外部講師による講演等に出席することを「キャリアデザイン」として単位認定いたします。また、一貫生でも別の形でキャリア教育を推進し、目黒学院独自の「総合的な学習」として位置づけることを押し進めていきたいと考えております。

2. 役員・教職員の異動

前述の通り、飯野泰男中学校長が退任されましたが、飯野先生は4月から学校法人目黒学院の理事に就任され、現在は週に2日程度、一貫生の海外研修の事前指導にあたられております。また、結城重一先生が任期の満了に伴い理事を退任され、松本武巳事務局長が常任理事に就任（事務局長を兼任）されました。

教職員では、三坂伊那先生（理科）、佐藤克己先生（情報）が定年退職されたほか、浅野元彰先生（専任講師・国語）、藤牧朗先生（常勤講師・理科）が退職されました。浅野・藤牧両先生は引き続き非常勤講師として生徒の指導にあたられております。一方、従来非常勤であった公文晶子先生（地歴・公民）、竹内圭介先生（情報）を常勤講師としてお迎えいたしました。また、事務に高野宏昭先生をお迎えいたしました。現在の専任教員数は65名（常勤講師を含む）、専任職員数は7名となっております。

3. 部活動の状況

関東大会以上に出場したのは、空手道部・水泳部でした。また、本校の部活動ではありませんが、フィギュアスケートではインターハイに出場いたしました。本年4月に行われた第82回日本選手権水泳競技大会の200メートル自由形で、平成14年度卒業生の櫻井裕司君が1分49秒84の好タイムで優勝しております。

4. 大学進学状況

本校のホームページに本年度の大学進学実績を掲載しております。一貫生の第5期生が一浪で東京大学に合格したのが目を引きますが、大学入試に不可能がないことがまさしく実証されたのではないかと思います。また、医学・歯学系も含め、妥協せずに自分の行きたい大学、学びたい学部によって合格を手にする生徒が徐々に増えている様子が窺えます。在校生のほとんどが大学進学希望であり、生徒の志望進路実現のために教職員一同、なお一層真剣に取り組んでいく所存です。勉学であれスポーツであれ、真摯にかつ夢中で取り組み、自分自身の考え方にこだわりを持った「有言実行」の男子を育成したいと考えております。

5. その他

経済的に就学が困難な生徒の保護者に対して、授業料を免除する規程を設けることになりましたが、生徒及び保護者への周知のタイミングが遅れ、平成17年度は授業料を免除した実績はございませんでした。本年度は情報の周知徹底を押し進め、規程に基づき授業料を免除した場合には、同窓会からその一部をご援助いただく予定であります。



TOHO
Toho Industries & Co., Ltd.

東邦工業株式会社

- 業務内容：熱硬化性プラスチック用インサートナット
熱可塑性プラスチック用インサートナット
携帯電話対応インサートナット
ステンレス精密シャフト
- 使用機械：スイス型自動旋盤、NC複合加工自動旋盤
NC自動旋盤
ISO 9001.14001 認証取得

代表取締役 **土方 国任** (31年3月卒)

Hijikata Kunitaka

本社工場
東京都目黒区下目黒2-12-3
TEL03-3490-1311(代)
FAX03-3490-3848

大岡山工場
東京都目黒区大岡山1-6-10
TEL03-3717-3153
FAX03-3717-6790



埋め込み用インサートナット

平成17年度決算報告書

平成17年4月 1日から
平成18年3月31日まで

(収入の部)		(単位：円)	
科 目	予算額	決算額	摘 要
同窓会費	1,568,600	1,568,600	649名分
入会金	432,000	432,000	215名分
賛助会費	700,000	642,220	177名分
総会費	300,000	352,500	54名分
寄付金	150,000	130,000	
雑収入	81,700	81,194	会報掲載広告代及び預金利息
当期収入合計	3,232,300	3,206,514	
前年度繰越金	2,399,561	2,399,561	
収入合計	5,631,861	5,606,075	

(支出の部)		(単位：円)	
科 目	予算額	決算額	摘 要
総会費	3,190,000	2,559,055	
行事費	1,490,000	1,195,286	
通信費	1,460,000	1,170,295	会報発送郵便料
印刷費	230,000	184,694	賛助会費振込用紙
雑費	10,000	8,780	
会議費	162,000	64,579	
役員会費	105,000	54,979	出席者食事代
委員会費	45,000	3,780	
通信費	10,000	5,820	開催通知郵便料
雑費	2,000	0	
補助費	380,000	280,000	
部・同好会補助	350,000	250,000	在校生部活動補助
文化祭補助	30,000	30,000	梧林祭の祝金
事務費	580,000	510,417	
人件費	370,000	315,819	会報発送手間代・役員手当等
事務消耗品費	125,000	104,191	会報発送用封筒代
交際費	80,000	89,032	慶弔費
交通費	3,000	0	
雑費	2,000	1,375	
名簿費	432,500	398,900	
機関紙	221,000	201,500	15,500部作成
卒業生名簿	211,500	197,400	平成18年3月卒業生分400部
予備費	100,000	0	
当期支出合計	4,844,500	3,812,951	
次年度繰越金	787,361	1,793,124	
支出合計	5,631,861	5,606,075	

[特別積立金]

(単位：円)		
保管種別	本年度末	前年度末
定期預金	7,000,000	7,000,000

〔会計監査報告〕

私たちは、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの平成17年度における会計監査を行い、次のとおり報告する。
会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて監査を行った結果、公正かつ相違ないことを認めます。

平成18年4月20日

会計監査 藤田貞男
会計監査 石渡博己

平成18年度予算について

平成18年度収支予算は、平成18年度の事業計画と平成17年度の収支実績とを勘案して編成した。

1. 収入の部

同窓会費は570名、入会金は177名を収納予定人員と積算し、また賛助会費は650口を収納予定として予算計上した。

本年度は、定期総会が開催されないことに伴い、総会費および寄附金収入については、予算未計上とした。

平成18年度予算書

平成18年4月 1日から
平成19年3月31日まで

(収入の部)		(単位：円)	
科 目	予算額	前年度予算額	増 減
同窓会費	1,573,500	1,568,600	4,900
入会金	354,000	432,000	△ 78,000
賛助会費	650,000	700,000	△ 50,000
総会費	0	300,000	△ 300,000
寄付金	0	150,000	△ 150,000
雑収入	81,700	81,700	0
当期収入合計	2,659,200	3,232,300	△ 573,100
前年度繰越金	1,793,124	2,399,561	△ 606,437
収入合計	4,452,324	5,631,861	△ 1,179,537

(支出の部)		(単位：円)	
科 目	予算額	前年度予算額	増 減
総会費	1,393,000	3,190,000	△ 1,797,000
行事費	0	1,490,000	△ 1,490,000
通信費	1,220,000	1,460,000	△ 240,000
印刷費	170,000	230,000	△ 60,000
雑費	3,000	10,000	△ 7,000
会議費	117,000	162,000	△ 45,000
役員会費	105,000	105,000	0
委員会費	0	45,000	△ 45,000
通信費	10,000	10,000	0
雑費	2,000	2,000	0
補助費	380,000	380,000	0
部・同好会補助	350,000	350,000	0
文化祭補助	30,000	30,000	0
事務費	595,000	580,000	15,000
人件費	370,000	370,000	0
事務消耗品費	120,000	125,000	△ 5,000
交際費	100,000	80,000	20,000
交通費	2,000	3,000	△ 1,000
雑費	3,000	2,000	1,000
名簿費	410,000	432,500	△ 22,500
機関紙	210,000	221,000	△ 11,000
卒業生名簿	200,000	211,500	△ 11,500
予備費	100,000	100,000	0
当期支出合計	2,995,000	4,844,500	△ 1,849,500
次年度繰越金	1,457,324	787,361	669,963
支出合計	4,452,324	5,631,861	△ 1,179,537

平成17年度の決算報告ならびに平成18年度の予算を掲載いたします。

平成17年度決算報告について

当初予算においては、単年度収支で161万円の支出超過を予定して開始されたが、収入はほぼ当初予算どおり、支出は極力経費の節減に努めたことにより、予算に対して101万円の減少となった。

この結果、単年度収支では60万円の支出超過に止まり、次年度への繰越金は179万円となった。

1. 収入の部

同窓会費、入会金は予算どおり収受し、賛助会費は予算比で減少したが、総会費が予算に対して増加したため、収入合計では、ほぼ予算どおりの結果となった。

2. 支出の部

すべての支出科目において節減努力したほか、総会費の行事費で開催会場の見直しを図った結果、予算対比で減少した。

2. 支出の部

本年度の事業計画は、①同窓会だより「桐」の発行、②平成19年3月卒業の卒業生名簿の作成、③在校生の部・同好会に対する補助等が主なものである。これ以外の経常的運営費については、次回の総会・懇親会開催に備えて極力抑制した予算を編成した。

この結果、次年度への繰越金は145万円を予定し、単年度収支では33万円の支出超過予算となった。

母校クラブ紹介

フィギュアスケート・クラブ

クラブ顧問・教諭

矢野 礎

今年の2月イタリアのトリノで、冬季オリンピックが開催され、荒川静香選手が女子フィギュアスケートでトゥーランドットの旋律に乗り、イナバウアーなどを舞い、金メダルを獲得しました。去年の暮れのオリンピック代表選考の時期ぐらいから、マスコミや世間では、フィギュアスケートに関して盛り上がってきました。わが目黒学院高校では、それより一足早くフィギュアスケートで、盛り上がっていました。平成13年に小林宏一君、平成14年に岸本一美君、平成15年に門脇翔君、平成16年に水谷大洋君、田中達也君、平成17年に水谷心君の6選手が入学し、活躍してきました。現在は、水谷(兄弟)君(3年生、2年生、長野県岡谷出身)と田中君(3年生、京都府宇治出身、3月のスロベニアで世界ジュニア大会出場)が遠隔地から目黒学院高校に在籍し、頑張っています。

フィギュアスケートは、校内で練習するのは不可能で、練習会場である外部のスケートリンクのクラブコーチとの絡みもあるので、生徒会指導の通常の部活動形式ではなく、副校長預かりの特別クラブとして、目黒学院高校では存在しています。

小林君と岸本君は特に優秀で、小林君は高橋選手(トリノオリンピック出場)と1学年下、岸本君は、織田選手(オリンピック候補選手)と常にトップを争ってきました。岸本君はトリノオリンピックの強化選手にもなっていました。一部ですが、クラブの記録としては、インターハイで個人優勝、団

体優勝(連続)、国民体育大会少年の部で、個人準優勝、団体優勝、全日本ジュニア選手権で優勝、全日本選手権で準優勝、世界ジュニア選手権で第4位などがあります。

顧問としては、フィギュアに関しては素人だったので、スピン、ジャンプ、ステップ、スパイラルなどの勉強や採点方式を理解するのがひと苦勞でした。フィギュアスケート選手は、優秀になればなるほど、試合、遠征、強化練習が、国内外を問わず頻繁に実施されるので、高校生としての本来の学業がおろそかになります。学校長をはじめ、たくさんの先生方の助力を受けて、なんとか運営しております。

◆獣医師としての役割◆

西村 和 徳

(昭和44年3月卒)(旧姓:畠山)



目黒高校に入学した経緯から獣医師と
なりたいと思います。

目黒高校と親交のある方がおり、
目黒高校に入学することができました。
左も分からず、田舎出身の者には苦
言の壁に突き当たり、友達のい
ない寂しさに何度か途中で学校を止め、田舎に帰ろうかと思
ったことも有りました。今、思えば3年間よく頑張ったと思
います。

そして、3年生になり卒業後の進路について、当時の担任

油圧の総合メーカー

YUKEN

油研工業株式会社

(東京証券 第一部上場)

結 城 重 一

(第1期卒業)

本社 相模事業所 神奈川県綾瀬市上土棚中4-4-34
TEL (0467) 77-2111
営業本部 東京都港区芝大門1-4-8 清和ビル
TEL (03) 3432-2111

<監査業務>

ロイヤル監査法人

社員代表 公認会計士

宮川 良 雄

東京事務所 〒152-0003

東京都目黒区碑文谷2丁目7番17号

TEL 03-3716-7666

FAX 03-3712-1365

<財務、税務、登記 企業診断、相続税>

公認会計士、税理士、司法書士、中小企業診断士

宮川良雄事務所 所長 宮川良雄

所在地 Tel・Fax 〒 同上 (第1期卒業)

の先生に相談し、獣医を目指していることをお話ししたところ、希望大学に推薦をしていただきました。でも、結果は、不合格となり、次の某大学には試験で何とか合格でき、今では大変感謝しております。獣医大学数は、全国で12大学で、このうち私立は少なく、学生数は女性が6割弱を占めていると聞いております。

大学卒業後は、秋田県庁農政部の家畜保健衛生所に勤務しております。

一般に獣医師という概念は都会では、小動物開業のイメージが強いと思います。地方にも小動物開業者がありますが、都会よりはるかに少なく、大半が県庁での家畜保健衛生所、農業共済団体勤務等であります。最近では、獣医師の勤務傾向が変遷し、県庁勤務が少なくなり、動物病院開業者が多くなりました。また、獣医師の偏差値も高くなり、最近では、

獣医大学の入学は大変難しいと聞いております。修学期間は6年間で、卒業後、国家試験に合格して初めて、獣医師として登録されます。

業務内容は、家畜(牛、豚、馬、綿羊、山羊、鶏)の伝染病予防、薬事法、畜産公害等多岐にわたる業務を推進しながら、畜産農家の経営安定に努めております。

現在、私どもの業務は、79年振りに日本に発生した「鳥インフルエンザ」や「BSE」の対応に追われ、多忙な毎日を送っております。

最後になりますが、私から母校及び在校生へお願いを申し述べさせていただきます。是非、ラグビー王国目黒の名声を全国に再度、轟かせてください。楽しみに期待しております。後輩の皆様の活躍を祈念し、私からのメッセージに替えさせていただきます。

さて、では、「麻婆」とはどんな意味が有るのでしょうか。皆さんはご存知ですか？

昔むかし、中国は四川省のある小さな村に“顔にアザが有る”一人のお婆さんが住んでいました。そのお婆さんが作る唐辛子と山椒などのスパイスが利いた豆腐料理が大変美味しい！と評判になり、それに気を良くしたお婆さんは、毎日たくさんその豆腐料理を作って、家の前で配るようになったとか……

それが、中国四大料理を代表する四川料理の逸品「麻婆豆腐」なのです。中国語では、“アザ”を“麻”とも言うため、この料理の由来は、「顔にアザが有るお婆さんが作る豆腐料理」と言うこととなります。ちなみに、「マーボナス」と言う料理は、中国には有りません。悪しからず。

◎上海(シャンハイ)焼きそばをご存知ですか！

私の店は、上海風中国料理店なので、当然、メニューにあります。通常、焼きそばは、具をあんかけにした料理がほとんどですが、「上海焼きそば」は数種の野菜を茹でた麺と一緒に油で炒めます。この焼きそばが日本に伝わり、西洋のソースと合体し、「ソース焼きそば」になったのです。今では、一般家庭でも、コンビニでも、また、お祭り等の屋台の定番です。

食にまつわる、歴史と文化、伝統を知り、それを食すと、より一層楽しくまた美味しくいただけます。私も、もっとさらに見聞を広めなければと思っています。

最後になりますが、3年に一度、開催される同窓会の総会・懇親会は、けっこう楽しいです。是非、より多くのOBの皆様に参加していただきたいと思っています。



◆中華料理のうんちく話し◆

諸 根 雄

(昭和53年3月卒)

私は日本生まれの中国人です。父は12歳からこの道一筋の料理人、母は老舗料理店の養女でした。高校入学までの15年間で、ほとんど華僑社会で育った私は、華僑2世として目黒高校に入学しました。それゆえ、目黒高校での3年間は終始新鮮な事ばかりでした。在学中は、信頼と尊敬する先生方と良い級友に恵まれ、現在は、父の家業である中華料理店を引き継いでいます。そんな私にとって何よりも嬉しい事とは、店を開いていると、かつての先生方や同級生がご家族や社用で食事に来てくださる……あるいは、この会報「桐」を見て、先輩や後輩が来店し声を掛けてくれることです。そんな時は、私にとって何よりも楽しい瞬間です。同窓会の関係者の皆様！改めて御礼の言葉を申し上げます。本当に有り難うございます。

さて、今回、せっかくいただいた紙面ですので、同窓の皆様様に、中華料理店に行ったら使える「うんちく」をいくつか披露させていただきます。

◎メニューの見方

中華料理の品名は、ほとんどが4文字か5文字で構成されています。(3文字とか2文字は少ない)例を上げてみますと、

- ①千焼蝦仁(えびのチリソース煮)
- ②青椒牛肉糸(細切牛肉とピーマン炒め)
- ③腰果鶏丁(鳥とカシューナッツ炒め)

以上の3品は、必ずと言っていいほど注文がある中華料理の定番です。品名の後ろ、下線部分が主材料名です。品名の頭部分は、味付けや一緒に入る材料を表しています。

このような文字の組み合わせの品名は、中華料理の8~9割りぐらいあります。(店によって多少は異なるが、やはり多い)

◎「麻婆豆腐」(マーボ豆腐)の由来

皆さんもご存知のとおり、老若男女を問わず、無くてはならない一品ですが……最近では、それに続く料理として「マーボナス」(茄子のマーボ豆腐版)がテレビ等でもよく紹介されます。

同窓会賛助会費 納入者のご芳名

平成17年度分の賛助会費として、本年3月末までに納入のあった方は、
下記の177名の方々です。ここに、謹んでご報告申し上げます。

★印は新規納入者

ア	相青阿秋朝安阿新有	沢山妻本倉達部井我	勝正靖康祥富容敦	己和彦夫吾夫大博洋	オ	大久保岡	石原本川野澤澤島合	和行亮誠之助徹篤二勝広豊夫	志雄一助	黒田持貴史	ケ★	田池賀嶋林宮室藤	弘	★鈴木勝雄	木木建大	勝邦久介徹一郎稔男	雄	土戸富	佐澤永	幹正淳	雄則仁	マ	前舛松松	嶋巴枝谷	喜真直	義熙之記	
イ	★飯五池石石石石市市伊★稲★稲乾猪伊★岩★岩	飯塚嵐田井井澤渡川川藤葉葉瀨福崎間	春信博俊熊昭秀祐忠博	雄明德亨三夫夫一邦己清憲一博彦一郎誠登也志	カ	柿ノ追藤日子合瀬野国	カ	夫喬一夫郎雄茂郎輝	国雄敏雄章年吉	サ	五月女井峨田木藤藤藤	進和克泰拓明静二孝	一幸織教也朗男郎夫允	★	外山知幸昇	山桂英弘哲雅海	吾雄樹男勇信実人敬広治夫夫弘敏一一	幸	二	新高野寺	国洋和龍正	任司洋元芳和	モ	★森川	福太郎	二雄	太郎
ウ	★右内	川山昭	帆治	帆治	ク	久楠久倉	我本保持	茂盛好利	三仁生夫	シ	穴四柴島清下蕭	戸宮田崎水田石	一介男憲健美志男	★	千葉真也	義論	夫	ホ	星洞本	名野口多	久信芳徹	康男彦誠也	ユ	結城重一	貴史		
エ	遠藤尚之				キ	菊木北木喜清	地全根村友原	明繁信益弘義朝相	廣太郎隆巳之男典皓	ス	鄒杉勝	逢法	有男翊	★	千井東	義論	夫	木	深福藤藤藤藤	野井兼田野平	和辰英貞雅	博泰茂男夫男保司	コ	山崎内	重一		
					ク					ソ	外山知幸昇	一幸織教也朗男郎夫允	一介男憲健美志男	★	千井東	義論	夫	ニ	新高野寺	国洋和龍正	任司洋元芳和	ト	山崎内	重一			

計177名
(内新規納入者43名)

機械工具、鋏螺、工作機械、OAFAM機器

株式会社 マツ

代表取締役 松本誠治

本社／東京都品川区戸越3-4-18
〒142-0041 TEL3788-1111 (大代表)

南国飯店

上海風味 中国料理

自由が丘 代表取締役 諸根 雄 (昭和53年卒)

◎大小個室宴会場 8名～80名様位
◎ご予算等お気軽にご相談下さい！
TEL.03-3722-3211
◎P有 FAX.03-3722-3034
◎水曜定休日

「ぐるなびHP」 <http://gnavi.joy.ne.jp/>
自由が丘駅下車歩4分・学園ストリート田園調布方面
東京都世田谷区奥沢5-40-12

同窓会会則の一部改正について

昨年、開催された総会・懇親会の席上で、本会会則の一部改正が承認されました。

改正の内容は、準会員である在校生が在学中に納入する会費額を、これまでの年額2,400円から3,600円に改正しました。

目黒学院高等学校同窓会会則の一部を次のとおり改正する。

第18条「会費は年額2,400円」を「会費は年額3,600円」に改める。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、平成17年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この会則による改正後の会費は、平成17年4月1日以降に入学した準会員から適用し、平成17年3月31日以前に入学した準会員については、なお従前の例による。

★同窓会ホームページのアドレス★

<http://www.meguro.ac.jp/Kiri/>

◆急募！ 同窓会活動にご協力いただける人材◆

対 象 年齢不問、同窓会の活動に関心のある方。
パソコン、インターネットに興味のある方大歓迎。

連絡先 安達 富夫 TEL 090-4063-6580
E-mail : kiri@meguro.ac.jp

●クラス会・同期会の開催状況をお寄せください！

本紙では、紙面の一層の充実を図り、会員にクラス会、同期会の開催状況を広くお知らせするために、投稿をおまちしています。

〔要領〕開催の様様（開催日時、場所、参加者数等）を、字数1,000字以内にまとめ、写真を添えて投稿者の氏名、住所、電話番号、卒業年を明記して下記にお送りください。

〔宛先〕〒153-8631 目黒区中目黒1-1-50
目黒学院高等学校同窓会事務局 まで

◆同窓会役員氏名◆

平成17年度の総会・懇親会にて、選任された本会の役員の方々は、次のとおりです。なお、任期は平成20年の総会開催までです。

役 職	氏 名	卒 業 年
会 長	安 達 富 夫	昭和43年
副 会 長	須 藤 昭 男	昭和27年
”	矢 川 福 太 郎	昭和30年
”	土 方 国 任	昭和31年
”	平 井 洋	昭和38年
”	市 川 康 憲	昭和42年
総 務	鶴 見 正 幸	昭和50年
”	高 木 英 二	昭和50年
”	小 林 秀 二	昭和53年
”	北 村 徳 章	平成 2 年
広 報	小 林 隆	昭和44年
”	清 水 賢 治	昭和55年
”	佐 藤 暢 章	平成 2 年
”	鈴 木 正 明	平成 3 年
相 談 役	久 我 茂 三 郎	昭和20年
”	巨 海 貢	昭和30年
”	武 田 広	昭和33年
会 計	木 村 義 男	昭和30年
”	大 川 信 也	昭和57年
会 計 監 査	藤 田 貞 男	昭和28年
”	石 渡 博 己	昭和32年



昨年の総会開催時に選出された新役員一同

賛助会費の納入をよろしく お願いいたします！ 賛助会費：一口1,000円

賛助会費は、一口1,000円で、口数は任意となっております。お志のある方は、複数口のご協力をよろしくお願い申し上げます。また、財政面で安定した本会運営を行っていくために、多数の会員諸兄のご協力をお願い申し上げます。

※納入にあたっては、同封の郵便局用「払込通知票」をご使用のうえ、お振込みください。